

令和5年度 豊川市観光振興推進委員会 議事録

1 日時 令和5年6月30日（金）10時00分～11時30時

2 会場 豊川市役所 本34会議室

3 議題

(1) 豊川市観光振興推進計画の進捗状況について

4 出席者

【観光振興推進委員】

溝口隆文 委員、飯田貴俊 委員、岡田 崇 委員、青山貴映 委員、
波多野千恵 委員、山本芳世 委員、加藤悦子 委員、平賀菜由美 委員、
笹木原史門 委員、増田孝道 委員

【事務局（産業環境部 商工観光課）】

木村晋也次長、望月崇宏課長、若生明伸課長補佐、滝川紘史観光係長、
大谷綾佑主事

5 会議の公開の可否

公開

6 傍聴者数

6名

7 会議内容

・あいさつ（産業環境部長）
（略）

・委員等紹介
（略）

・委員長の選出
（略）

・議事（1）『豊川市観光振興推進計画の推進状況について』

【委員長】

それでは、議事（1）『豊川市観光振興推進計画の推進状況について』、事務局より説明願います。

【事務局】資料1～6について説明

【委員長】それでは資料の基本方針1から4まで、ご意見を頂戴したいと思います。

【委員】基本方針1について、ずれているかもしれないですが、経済効果という言葉が出ましたが、観光消費額等の指標はあるのでしょうか。

【事務局】資料をご覧になっていただきたいのですが、観光振興推進計画で目標を設定している中で、今言われた経済効果のところでは、実際の観光消費額を計測ができておりませんので、この計画を進めていく中で、経済効果を分析する手法を検討していきたい、というような状況になっております。

【委員】施策(2)の④ですが、東三河全体での観光イメージづくりとありますが、どのような方法がありますか。東三河全体でこういった観光イメージをしているか。

【事務局】資料6で、具体的にどんな事業が展開されているかを記載しており、資料6の2ページ目の一番下の2つの事業が該当しています。1つ目は、東三河他市町村と連携した情報発信・観光イメージの発信。2つ目については、基本方針4の方も絡んできますが、観光イメージの発信やイベントの実施など、令和5年度頭に設立されたほの国東三河観光ビューローと協力しながらやっていくものと捉えております。

【事務局】補足させていただきますけども、東三河広域観光協議会という東三河の市町村や観光協会さんから負担金を出して運営されている団体ですが、発展的に改組して、一般社団法人ほの国東三河観光ビューローが設立されました。今後、観光庁に登録申請していきますが、まだDMOではない。今年、DMOの申請をして、準備をしていくところになります。こちらの方と協力をしながら、東三河全体の観光振興を図ってまいります。

【委員】今回の中で、新たなライフスタイルの活性化ということでお伝えできればな、というところがありました。アニメやアイドルを活用した施策は、若者にかなりアピール度がある。アニメを活用すると、若者同士がどこどこに行くと学校で話し、インターネットを通じてかなりの集客ができる、ということをお話していただきましたので、新しいものの活用ということで、アニメの話をお聞きしました。

【委員】観光客について、豊川市内と市外とで把握している部分はありますか。例えば、市内の人が楽しんでいることによって活性化されるから、それが魅力に感じて市外からも人が来る、という流れも一つあるのかと思います。

【委員長】なかなか統計的に難しいのかもしれないですね。

【事務局】はい。常時把握できているわけではありませんが、こちらの観光計画を

策定した時の観光レクリエーション利用者統計など、調査時に把握している部分はあります。例えば、宿泊者統計で宿泊されている方がどこから来ているかなど、本日の資料にはありませんが、現状整理の中で把握している部分があります。

【委員】 交流人口の増加を目指すなか、観光消費額を上げて、しっかり毎年 KPI など、いろんな意味でマーケティング調査をしっかりとすること、ほの国東三河観光ビューローで各自治体 8 市町村でやっていくと、言われております。そこでしっかりマーケティングができ、元リサーチ会社の方にも、通常、コンサルにお願いするともものすごい金額がかかってしまうところを、事務局の体制の中で若干の費用でやっていただけるようなお話もいただいています。

【委員】 本宮の湯リニューアルの工事について、宿泊施設が近くにあればなあ、と思っています。

【事務局】 具体的に計画はしていませんが、確かに観光消費額の増大と言った時には、やはり、滞在時間を延ばしていくことが大事です。プラス宿泊ということは、これは滞在時間を延ばすことですので、大事な方向性ということではできます。ただ、なかなか行政だけではできないので、やはり民間の力が必要と考えています。

【委員長】 なるほど。また、宿泊施設の案内ができれば。

【委員】 私としては、いろんな観光地に行ったときに、トイレや休憩スポットなどが清潔になっていると良いな、と思います。やはり今の時代、お子さんの休憩室だとか、トイレが今整備されてきていますので、大変だなと思いますが、整えていくことも大事だと感じていました。また、外国人の方がいろんな観光資源や体験支援に参加できるということが、とても良いと思います。資料にある「マイストーリーとよかわ」による体験プログラムは、外国人の方の多文化共生の学習素材としてもすごく有意義だと思うので、こちらを紹介したりとか、進んで参加するようなこともできたらいいなって、感じます。

【委員】 御祈祷等をやっておりますと、やはり県外から来られる方、特に団体の方々がかかりますが、例えば名古屋、大阪の方が観光途中によくいらっしゃいます。せつかく、豊川って本当に頑張っているいろんな企画がたくさんあるのですが、通過点と言われると、そういうのが残念だなと思います。また、豊川市のホームページを見たりしますが、今の時代、スマホでアプリを利用するということが増えて、本当にアプリですべてが完結するようになっていて、今新たなライフスタイルということに対しても、そういうスマホを駆使して情報発信ができればと思います。そういう、いろんなことをやってもいいのかな、と思う反面、これは今の若い世代の方々には良いと思いますが、逆に高齢者は基本的にあまり見ないので、それから見たら逆にどのように発信していったらいいのか、と感じました。

【委員長】 高齢者に対する情報発信は何かありますか？

【事務局】高齢者の方は、確かなかなかまだスマートフォンの活用は難しい。紙媒体として観光パンフレットがあり、昨年度、大きな写真を使うなど大幅な改定を行いました。

【委員】コロナになってから消費が減っている、と感じます。旅館に泊まるお客様でも、飲み物に関してもコンビニで買ってきて部屋で飲む、というお客様が多い。近くの桜の名所の御津山に来られても、写真だけ取りに来て、宿泊までは利用されない。東北の方がいらっしゃって、100万ドルの夜景というぐらいすごいところだね、と言われましたが、あまりにも道が悪いので、やはり力を入れていただきたい。道にあまりにも電灯が無く、こんなにいいところなんだけど・・・、という意見がありました。

また、観光協会のLINEでお店を紹介されても、店を利用せずに写真だけ撮りに来られる人もいますが、メディアの力はすごいと思います。

【委員】非常に恥ずかしい話ですが、豊川市の方々は本当に一生懸命やっている、というのはずっと思っています。個人的ではなく、立場的ですけども、東京の地域観光エキスポに、昨日参加しまして、いろんな方々と情報交換しましたが、山手線でもマスクをしてる人ほとんどいないです。通勤ラッシュで、東京ビッグサイトでも、参加者の方々もまずほとんどしていません。ですから、大きな時代が変わったなど、正直感じていまして、安心安全といった発信を豊川市からしていただけるといいなあ、と思います。非常に難しいことかもしれませんが、これから特に暑くなる中で、当然、そうした今のトレンドというのは、そうなってきたのかなと。

また、良いことではないですが、昨日、飯田線が止まっていました。これは鹿と接触をしたということで、あってはならないことですが、もうまさに地域を象徴することじゃないかな、と。私は電車で通勤していますが、飯田線は本当に素晴らしい。独自の世界になっている、そういうことを、逆に例えば観光客専用シートとか、高齢者専用シートがありますが、観光客の方々が一番景色の良いところに座ってください、というおすすめシートがあれば、この街、地域全体が観光客の方々に対する顧客ファーストのような、何かそうした発信をしていただけると、お金を使わずに、真心と気づかいで人を誘致するという方法が、東三河なら成立するのではないかと、思います。

【委員】私が地方とかで情報収集する際もそうですが、ホームページで調べている団体のお客さんもあるかと思います。ホームページで観光地を紹介していますが、観光バスが停まれる、停まれないとか、駐車場がある、ない、という情報は、結構載ってないことが多くて、ホームページだと結局わからないので、直接お寺にかけるとか、観光所の方に聞いたりすることがあります。観光協会や市のホームページでも、団体さん向けの情報、サービス精神もほしい、と感じます。

また、観光協会の観光応援クーポンは、300円が割引されるので、いつも行かないお店までぐるっと回って、ちょうどいい規模感でやっていました。多分、名古屋市でやると大変なんだろう、と思いました。

【委員】お客様の数が変わってきた、と思います。やはりここで一旦ストップしたものがまた動き出して、今、飯田線も駅メモというアプリで発信していますが、インターネット上ですごい情報交換が始まって、私はここ行った、あそこ行った、という情報が知らないところで取り交わされて、今の若い子達の話を知ると、我々世代が知らないぐらい進んでる、と痛感させられますので、そういったところを少しつけ加えていけると、非常にいいのではないかと思います。資料の方で見させていただいた本宮の湯も、もっとPRできるのではないかと思います。

【委員】豊川稲荷に向かうツアーのお客さんも、海外の方が徐々に増えつつあると感じます。霊狐塚の独特の雰囲気は外国の人には興味をそそられるのではないかと。自分も子供の頃、小学生のときに遊んでいましたので、うまく発信できると、子どもたちにも肝試しスポットとしていいのではないかと、思います。

【委員長】皆様のご意見、ありがとうございました。

(閉会)